



世界への
プレゼントに
なろう

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

WEEKLY REPORT

No.2823 2015年11月16日

事務所 ひたちなか市海門町二丁目 8-13 ひたちなか商工会議所那珂湊支所内
 TEL.029(263)7811 例会日 毎週月曜日 12:30
 FAX.029(263)6859 例会場 常陽銀行湊支店二階会議室
 URL : <http://www.nakaminato-rc.com/>

★点 鐘

卯野福弥会長

国歌斉唱

ロータリーソング「奉仕の理想」

司会 奥山正紀 SAA

★ビジター紹介

卯野福弥会長

竜ヶ崎RC

倉沢修市2820地区ガバナー

佐伯優地区副幹事

糸賀祥治地区副幹事

ひたちなかRC

清水貞一2820地区ガバナー補佐

望月明男ガバナー補佐セクレタリー

水戸東RC

木村 利様

★出席報告

榎木直行委員長

会 員 数 32名

出 席 者 22名

欠 席 者 8名

出席免除者 2名

メイクアップ 6名

出 席 率 93.3%

★会長挨拶

卯野福弥会長

本日の当クラブのガバナー公式訪問に5名のお客様をお迎えしております。国際ロータリー第2820地区倉沢修市ガバナー、佐伯優地区副幹事、糸賀祥治地区副幹事のお三方は、龍ヶ崎市より遠路お出かけいただきました。そして、先日事前協議でご指導をいただきましたひたちなかロータリークラブの清水貞一第2分区ガバナー補佐と望月明男ガバナー補佐セクレタリーのお二方にもお出でいただきました。皆様方には何かとご多用のところ本日のガバナー公式訪問にお出でいただきまして誠にありがとうございます。また、倉沢修市ガバナーには先月の5日に行われました創立60周年記念式典にもご臨席を賜りましてありがとうございます。重ね重ね御礼申し上げます。

午前11時より、本日のガバナー公式訪問に向けて藤屋ホテルにおいて事前協議を行い、いろいろとご指導をいただきました。当クラブより私と川崎通夫会長エレクト、遊座文郎幹事、菊池眞一郎副幹事、奥山正紀地区役員が出席いたしました。その後、創立50周年記念事業として植樹した「はまぎく」、創立60周年記念事業として湊公園に設置した電波時計をご覧いた

できました。また、夤賓閣復元研究会会長の高田憲一郎会員には夤賓閣の説明をしていただきました。これから指導・ご助言をいただきたく存じますが、ご案内のタイムスケジュールに従いまして進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

★ 幹事報告

遊座文郎幹事

本日の事前協議において、次のように各行事の期日を確認しました。

- ・PETS 平成28年3月19日(土) 古河市
- ・地区協議会 平成28年4月2日(土) 古河市
- ・地区大会 平成28年4月16日(土) つくば市
(研修内容) クラブ・リーダーシップ・プラン (CLP) について
(午前) 会長・幹事
(午後) 会長・幹事+会長エレクト・幹事エレクト
平成28年4月17日(日) つくば市

★ 委員会報告

ニコニコボックス委員会

榎木直行委員長

倉沢修市2820地区ガバナー(竜ヶ崎RC)……
公式訪問に際して

木村 利様(水戸東RC)……メーキャップの御礼です。去る11月8日我がクラブの創立30周年記念行事が行われ、30年間100%出席を達成することが出来ました。那珂湊クラブ様に感謝いたします。

卯野福弥会長・遊座文郎幹事……第2820地区倉沢修市ガバナー、清水貞一第2分区ガバナー補佐ようこそお出で下さいました。ご指導の程よろしくお願いいたします。

磯崎孝創立60周年記念実行委員長……倉沢修市ガバナーよろしくお願いいたします。

安達良司・金子貞夫・鹿志村吉信・川崎通夫・奥山正紀・常盤昌敬会員……倉沢修市ガバナー、清水貞一第2分区ガバナー補佐、本日はご指導の程よろしくお願いいたします。

高田憲一郎会員……倉沢修市ガバナー、湊公園見学ありがとうございました。

★ 卓話

「世界へのプレゼントになろう」

倉沢修市2820地区ガバナー

プロジェクターを使用して、R. I.のテーマ、地区の方針、R. I.の運営目標としている重点



分野、戦略計画、価値観等を詳しく説明・解説されました。

その中で今年のラビンドランR. I.会長は「世界へのプレゼントになろう」(Be a gift to the world)とテーマを掲げました。1月に米国サンディエゴで開催されました国際協議会で、何故「gift」が日本語訳では「present」に変わったのか日本事務局から説明がありました。欧米では「gift」の方が[神からの贈り物]という意味まで含む広い意味での「贈り物」ですが、日本では「present」の方が上質感があるという事で、4ヶ月に及ぶ協議の末に「gift」を「presenu」としたそうです。

さて、第2820地区の今年度のテーマは「初心にかえり 新たなる一步を」としました。

ポール・ハリスに、なぜロータリーを始めたのですかと、質問すると「淋しかったから」と答えたという話は有名です。ご承知の方が多くと思いますが、ポール・ハリスは家庭に恵まれません。田舎から出てきて友人もいませんし、いわば都会砂塵のシカゴでさびしい思いをしているものが大勢いるに違いない。そういう人たちがクラブを創ったら素晴らしいのではと考え、1905年にメンバー4人で最初のロータリークラブを結成しました。

ロータリーは皆さまの心の中にあります。ロータリーは皆さまが人の心の美しさを学ぶためにあります。「奉仕」活動は、その心の現れです。ロータリーは、友情が基本ではありますが、寛容の精神と職業分類の概念も持ち合わせなければなりません。そして、ロータリーという「サービス」は日本訳の奉仕より遥かに概念が広く、人のためになる行為全体を指しています。

この初心は不変のものですが、R. I.は時代の流れの中で「ペーパーレス・財団の活用」の推進を新たに打ち出してきました。これまでは、各クラブや会員が書式に記入して様々な報告をしておりましたが、ロータリークラブ・セントラルからオンラインで報告を上げるようになりま

した。私も公式訪問の報告に活用しております。また、R. I.は財団の資金を運用しての事業推進を推奨しています。その資金を有効に活用して事業を行っているクラブも多く見受けられます。昨年度、ロータリー特別月間を、重点強訴するものに変更しましたのもその半数が財団関連月間とされています。

しかし、ロータリーの運動や基本理念は変わっておりません。「ロータリアンは、ロータリーの集まりをなぜ楽しめるのか。それは、ロータリーでは、会員同士、形式主義的なものを脱ぎ捨て、自然な(natural)態度に帰って、お互いに交流できるからだ」以上の理由で『初心にかえり新たなる一歩を』とのテーマにしております。

★ クラブ協議会

卯野福弥会長

クラブの各委員長より現況報告書に則り、方針や計画の発表があり、倉沢修市ガバナーからわかりやすく適切にご指導をいただきました。



◇ ガバナー (Governor) とは

英語の親せき・フランス語の動詞gouvernerは、祖先の言葉ギリシャ語kubern6、ラテン語gubernoの意味を受け継いで「操艦」の意を表すと同時に、「制御・管理・統治」などの意味を次第に派生させてきた、とされています。「操艦」は、和語で言えば舵トル・カトル。governorという言葉の意味を調べてみると、動的な対象の動きを制御して一定の方向へ導く、そんな意を含んでいるようです。

ロータリーは単年度で動いていきますから、毎年度、新しいガバナーを迎えます。ガバナーとは、所管地区のクラブによって指名(ノミネート)され、国際ロータリー(RI)の国際大会にて選挙(エレクト)される、地区における唯一のRI役員です(本誌2004年8月号横組みP38～39「ガバナーとガバナー補佐」、『友』ホームページwww.rotary-no-tomo.jpの「ロータリーの基礎知識」の中の同項目を参照)。

現年度、2006-07年度ガバナーの例でみると、国内全34地区からノミネートされ、2005年6月のシカゴ国際大会で選挙され、ガバナーエレクトになりました。原則として、国際協議会での研修を経ないとガバナーエレクトはガバナーにはなれません。今年度のガバナーはエレクトの時、2006年2月16～23日に開かれた国際協議会へ参加して、厳しい研修を受けています。

そして、自身が国際協議会に参加した年の2006年7月1日に、ガバナーとして就任しました。1年後の、2007年6月30日まで(または後任者が選挙され、資格が確定するまで)ガバナーの任にとどまります。ガバナーは任期を終了すると「パストガバナー」と呼ばれるようになります。

◇ ガバナーになる一地区の中で

ガバナーになるためには、1つまたはいくつかのクラブで通算7年以上会員であり、クラブ会長を全期務めた経験が必要とされるなど、まずその資格に、細かい条件が幾つかあります。

その上で、クラブは自分たちを的確に管理してくれる最適のガバナー候補者を推薦するよう、要請されています。候補者は、自分のクラブ以外の人でも推薦可能です。同時に現任のガバナーも、「次なるガバナーにふさわしい候補者」を調査し推薦するよう、所管地区内のクラブに対して要請してほしい、とRIは望んでいま

すから、『ガバナー月信』などに「ガバナー候補者推薦のお願い」と題して案内が掲示されたりします。

詳細は『手続要覧2004年』(P25～27)ならびにR. I. 細則15条(同P218～220)をご覧ください。

◇ ガバナーの仕事

「地区内のクラブの管理は、ガバナーの直接監督下に置かれる」(『手続要覧2004年』P25)とあるように、こうして幾つかの手続きを経て決まったガバナーの任務は、地区の中で各クラブに対し作用していきます。それらは『手続要覧2004年』(P25～26、P219～220)に詳しく出ています。

そのうち、ガバナーの責務としては13項目が挙げられていますが、それを要約して整理すると、

○ 会員増強

「新クラブ結成」「既存クラブの強化助成」「クラブ会長などと協力し、地区内クラブのために現実的な会員増強目標を設定して、会員増強を推進すること」

○ ロータリー財団への協力

「プログラムへの参加と資金寄付を通して、ロータリー財団を支援すること」

○ クラブとクラブ・クラブとR. I. の橋渡し役
クラブとクラブ、クラブとRIの間に、「良好な関係を促進すること」

○ 地区大会など、地区の行事の執行

「地区大会を計画・主宰すること」「PETS(会長エレクト研修セミナー)と地区協議会の計画・準備に当たるガバナーエレクトに協力すること」

○ 公式訪問

「なるべく早く、地区内全クラブを公式訪問すること」

○ ガバナー月信(Governor's Monthly Letter)

「クラブ会長・幹事にガバナー月信を発行すること」

○ 国際ロータリー関係

「会長またはR. I. 理事会の要請があれば、速やかにR. I. に報告を提出すること」「ガバナーエレクトに対し、国際協議会の前に、地区内クラブ状況について、詳細な情報を提供し、併せてクラブ強化策の勧告案を提供すること」「地区内でR. I. の決まりが確実に実施されるよう計らうこと」「地区で保存すべき文書をガバナーエレクトに引き継ぐこと」「地区内におけるR. I. 役員としての職責に属するその他の任務を遂行すること」などとなります。

お気づきのように、ガバナーエレクトとの連携活動が多々含まれています。目頭でも触れましたが、ロータリーは単年度が原則ながら、過去を参照しつつ、常に次の年度を見据えて動いているからです。

このほかに遂行すべきこととして5つの項目があり、『手続要覧2004年』P26から引用しますと

1) ロータリアン誌、承認され指定されたロータリーの地域雑誌、ロータリー・ワールド、その他R. I. 事務局から発行されるすべての公報、文献類、および地区内各クラブの出版物などを読む。

2) 各クラブに対し、少なくとも毎年1回は都市連合会に参加するよう奨励する。

3) 国際大会への出席を勧奨する。

4) 必要があれば、クラブ会長と幹事のいずれかまたは両者の特別会議を開催する。

5) 毎月地区内クラブの出席報告の摘要を作成し、この報告を事務総長に送付する。

となります。補足しますと、「承認され指定されたロータリーの地域雑誌」とは、日本なら本誌『ロータリーの友』のことです。「都市連合会」はインターシティーミーティング(I. M.)のこと。事務総長は国際ロータリー事務総長エドウィン・フタ氏です。

ロータリーの友(2006年10月号)

山上門(巻頭写真説明)

山上門は、もとは勅使奉迎(ちよくしほうげい)のため水戸藩江戸小石川邸(文京区後楽1丁目)の正面右側に設けられたもので、後に屋敷内の「山上」と呼ばれる場所に移築されたことが名称の由来であるといわれている。昭和11年に名誉市民の深作貞治(ふかさくていじ)氏が、当時の陸軍省から山上門の払い下げを受け、当地に移築しました。小石川邸の建物のほとんどが失われた現在では、歴史的に重要な価値を持つといえる。

「出席はロータリアンの3大義務の1つです」